

# 北部機械金属業界の景況動向

(2019年10~12月実績/2020年1~3月見通し)

■調査対象：綾部市以北5市2町の機械金属関係企業177社【調査時点：2019年12月下旬】

■回答数：134社（回答率：75.7% ※内訳は以下のとおり）

①市町別 福知山市：28/舞鶴市：20/綾部市：18/宮津市・与謝郡：12/京丹後市：56

②取扱別 一般機械：54/電気機械：16/輸送機械：31/精密機械：16/その他：17

※「一般機械」…工作機械、産業機械部品等/「電気機械」…家電部品、電子部品等

/「輸送機械」…自動車部品、船舶等/「精密機械」…半導体・液晶関連、精密機械部品等

③従業員数別 1~9人：38/10~19人：29/20~49人：34/50~99人：17/100人以上：16

※調査票の郵送によるアンケート調査に加え、一部企業に対し訪問調査を実施。

【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

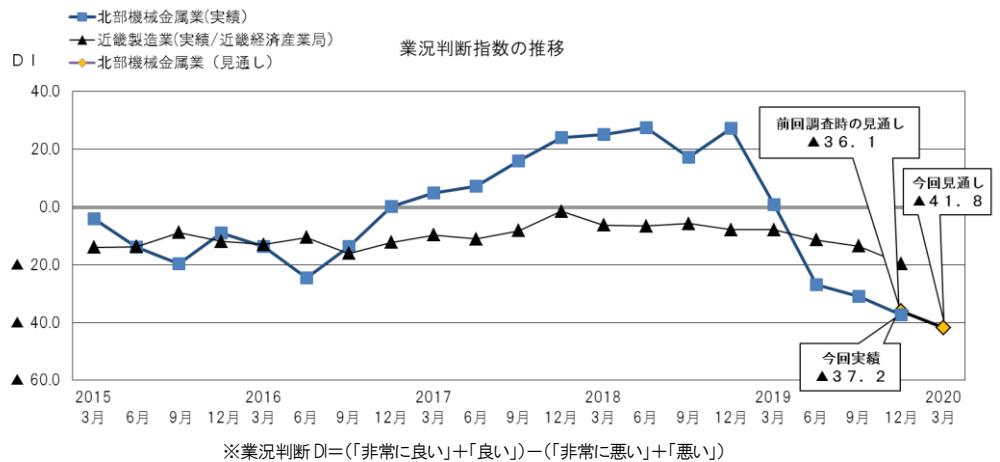
## — 調査結果 —

### 1. 景況動向判断

10~12月期の業況判断DI（「非常に良い」及び「良い」と回答した企業の割合から「非常に悪い」及び「悪い」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲37.2となり、7~9月期（以下「前期」）のDI値▲30.8よりも6.4ポイント低下と、悪化傾向が見られる結果となった。

1~3月期（以下「来期」）の見通しの業況判断DIは▲41.8となり、前期調査時のDI値▲36.1よりも5.7ポイント低下と、悪化傾向が見られる結果となった。

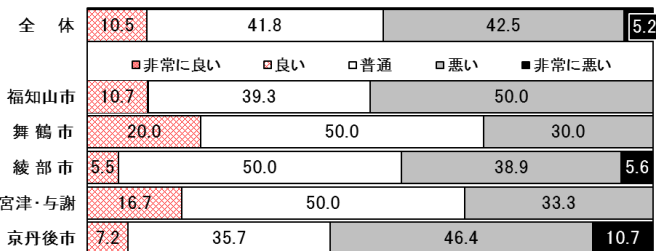
地域別に見ると、実績DI・見通しDIともに、京丹後市域を除く全域で前期よりも悪い値を示した。京丹後市域も依然として悪い値であり、北部全域の景況感の悪さが映し出される結果となった。



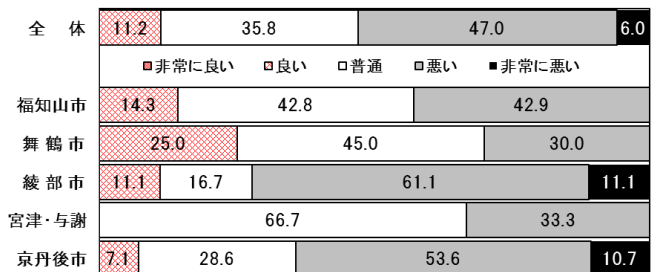
地域別業況判断DI

地域	実績DI			見通しDI		
	前々期	前期	今期	前々期	前期	今期
全体	▲26.8	▲30.8	▲37.2	▲33.8	▲36.1	▲41.8
福知山市	▲27.6	▲25.9	▲39.3	▲20.7	▲14.8	▲28.6
舞鶴市	▲5.5	5.2	▲10.0	5.6	0.0	▲5.0
綾部市	▲25.0	▲35.0	▲39.0	▲36.9	▲55.0	▲61.1
宮津市・与謝郡	▲18.8	0.0	▲16.6	▲37.5	▲14.2	▲33.3
京丹後市	▲37.3	▲55.7	▲49.9	▲53.0	▲61.6	▲57.2

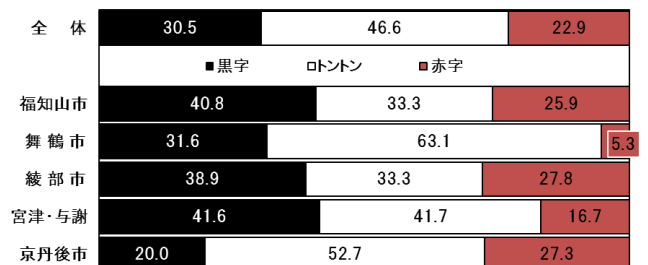
景況動向判断10~12月実績



景況動向判断1~3月見通し



10~12月採算状況



### 2. 採算状況

10~12月期の採算状況は、黒字とする企業が30.5%と、前期の28.8%より1.7ポイント増加した。赤字とする企業は22.9%と、前期の25.0%より2.1ポイント低下した。地域別では、前期と比べ、舞鶴市・綾部市域以外の地域で黒字とする企業の割合が増加し、福知山市域以外の地域で赤字とする企業の割合が減少した。

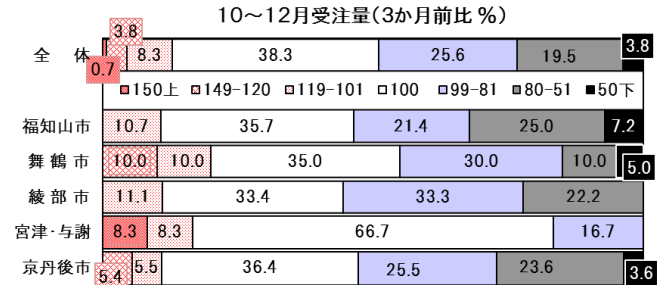
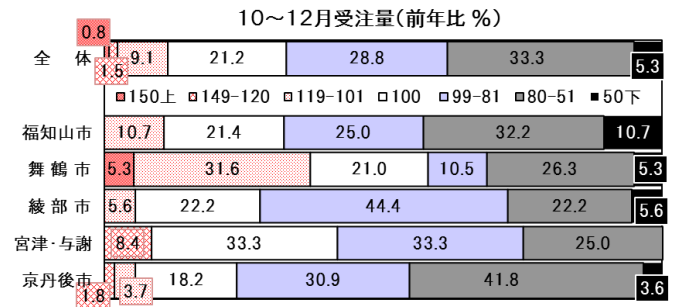
### 3. 受注量

10～12月の受注量について、対前年同期比100%以上を確保した企業は32.6%と、前期の39.0%より6.4ポイント減少。地域別では、舞鶴市域が比較的受注を得ている。

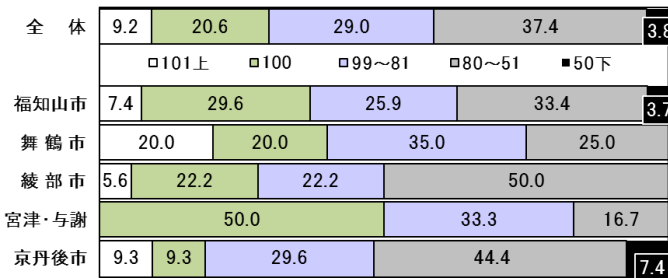
対3か月前比100%以上を確保した企業は51.1%と、前期の45.8%より5.3ポイント増加し、地域別では、福知山市域及び舞鶴市域で前期より減少した。

10～12月の受注量の稼働割合について、100%以上とした企業の割合は29.8%と、前期の31.5%より1.7ポイント減少し、地域別では、宮津市・与謝郡域を除くすべての地域で前期より減少した。

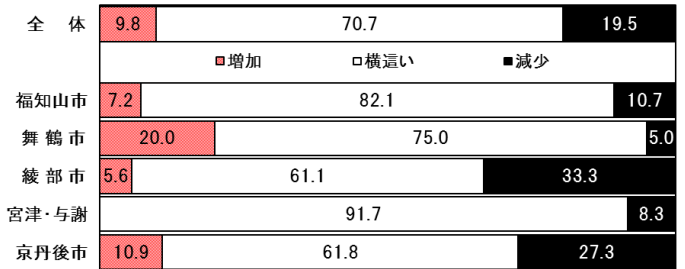
1～3月の受注見通しについて増加を見込む企業の割合が9.8%と、前期の9.2%より0.6ポイント増加の見通しで、地域別では、舞鶴市域・京丹後市域で前期より増加の見通し。減少を見込む企業は19.5%と、前期の20.8%より1.3ポイント減少の見通しで、地域別では、福知山市域及び宮津市・与謝郡域以外の地域で前期より減少の見通し。



10～12月受注量(受注能力を100として%)



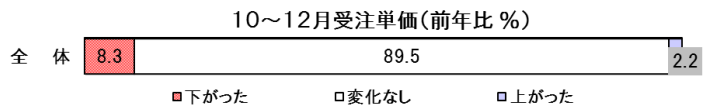
1～3月受注見通し



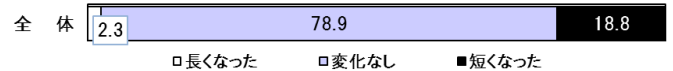
### 4. 受注条件(受注単価/納期)

受注単価が下がったとする企業は8.3%と、前期の6.8%より1.5ポイント増加した。上がったとする企業は2.2%と、前期の1.5%より0.7ポイント増加した。

納期が長くなったとする企業は2.3%と、前期の1.6%より0.7ポイント増加した。短くなったとする企業は18.8%と、前期の10.9%より7.9ポイント増加した。

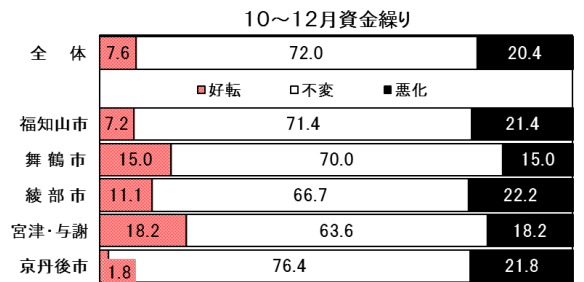


10～12月納期



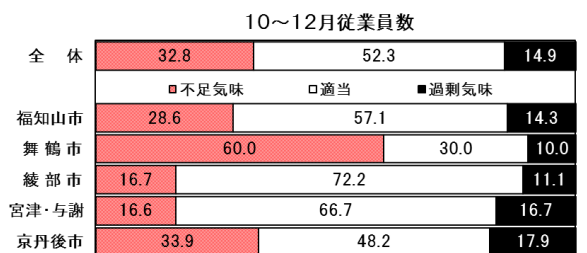
### 5. 資金繰り

資金繰りの状況が好転したという企業は7.6%と、前期の3.8%より3.8ポイント増加し、悪化したという企業は20.4%と、前期の14.5%より5.9ポイント増加した。



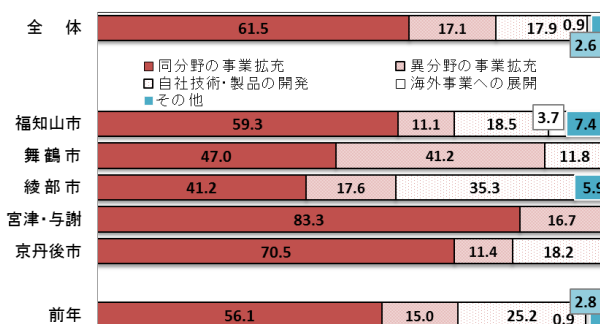
### 6. 従業員数

従業員数が不足気味とする企業は32.8%と、前期の31.6%から1.2ポイント増加した。過剰気味とする企業は14.9%と、前期の13.5%より1.4ポイント増加した。



### 7. 今後の事業での重視分野

今後の事業での重視分野



「同分野の事業拡充」が61.5%と最も多く、次いで「自社技術・製品の開発」が17.9%、「異分野の事業拡充」が17.1%であった。どの地域でも「同分野の事業拡充」が最も多い結果となった。